
6年研究授業計画

東二番丁小学校 6学年担任 武田 直樹

1 研究教科 社会科

2 共同研究における目指す子供像

- (1) いくつかの理由や根拠を挙げながら自分なりの考えや意見を持つ。
- (2) 内容の構成や伝え方を意識し、自分なりの考えや意見を表現する。
- (3) 互いの考えや意見を伝え合い、異なる意見も意識しながら自分の考えを広げる。

3 社会科で目指す児童像

社会的事象について進んで調べ、その意味について考えたり、表現したりする活動を通して、互いに考えを発展させることができる。

4 児童の実態

自主学習で予習に積極的に取り組むなど、歴史に関する興味・関心が高い。特に、調べることへの意欲が高く、教科書や資料集、図書館の本などを用いて課題解決をしようとする姿が見られている。しかし、全体の場で発表することができる児童が一部に限られている。また、グループでの学習では、自分の意見や調べたことを活発に話すことができる児童が多いが、小集団の中でも考えを伝えられない児童もいる。

5 『小学校学習指導要領』における言語活動の位置づけ

本研究は『小学校指導要領』社会科の第6学年目標（3）「社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。」に基づいて行う。

6 授業研究計画

- (1) 調べた資料を活用して自分の考えを持ち、それを交流させることで自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりすることができる授業。
- (2) 価値判断が必要な場面を設け、各自の考えや判断を説明したり交流したりすることで、社会がどうあるべきかを考え、社会的な事象を自分と関わることとして捉えることができる授業。

7 授業技術課題

- ・ 社会的な事象に対して、自分なりの考えを持つことができる課題や資料提示の仕方を工夫する。

◎ 教科の目標と研究内容との関連

(1) 指導要領より

①教科の目標

社会生活についての理解を図り，我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て，国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

②6 学年の内容

第6 学年の内容は，我が国の歴史，政治及び国際理解の三つの項目から構成されている。

ア 我が国の歴史上の主な事象

イ 我が国の政治の働き，日本国憲法の考え方

ウ 我が国とつながりの深い国の人々の生活の様子，国際社会における我が国の役割

第6 学年では，これらの内容を取り上げ，我が国の歴史や政治の動き，我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について理解できるようにするとともに，我が国の歴史や伝統を大切にし国を愛する心情や，平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていこうとする自覚を育てるようにする。

今年度は，アの歴史上の主な事象を基にして考えることを中心にして授業を考えていきたい。

(2) 今年度指導するポイント

①教科書，資料集の写真や絵，図，統計資料の基礎的な資料をもとに自分の考えをもつことができるようにする。そして，資料から読み取ったことをノートに効果的にまとめることができるようにさせる。

②歴史的事象について歴史に関する図書で調べたり，友達と意見を交流したりすることでより広い視野から歴史的な事象の意味を捉えることができるようにさせる。

③歴史的な人物が置かれたその時代その時代の課題を示し，それを解決するために実際に歴史的な人物がどのような工夫や努力をしてきたのかを考えさせたり調べさせたりすることによって，歴史的事象をより身近なこととして共感的に理解できるようにする。